

なぜ屋根は飛ぶのか？！

3月末の突風はすごかったですね。今回の突風では、瓦が飛んだ後の修理を多数頂きました。今回、何で屋根の瓦が飛んで行ったのか？。実は屋根の上に乗るとヨーク解りました！。今回の突風被害の写真をみてください。下から見ると、



棟と呼ばれる部分が無くなっているのがわかると思います。次に屋根の上から見た写真をみてください。瓦の棟って針金で留めてあるのが分ると思います。この針金って、銅で出来ている針金なんです。今の時代、酸性雨バンバンの時代。銅は酸に弱いので、コレ

が劣化して切れて突風で飛んでっちゃう訳です。なぜ屋根は飛ぶのか。解って頂けたでしょうか？。普段は瓦の棟が飛ぶ故障なんて有りませんが、今回のような暴風雨の場合は要注意。飛んで行った瓦が下の人に直撃なんて事も無いとは言えません。今回、現場調査をしながら頭をよぎりました。瓦屋根のオーナーさん、信頼出来る瓦屋さんか工務店に、一度屋根の点検をしてもらう事って大切ですよね。だって、下から見えない最も重要な部分なんですから。

